

おと高だより



校訓
HEART AND CREATION
創造 自主 飛翔

発行日 平成28年2月2日

ノルディックジュニア世界選手権大会出場！



大田喜君 後藤君 蜂須賀君

2月22日～28日までルーマニアのノシュノヴで開催されます2016年ノルディックジュニア世界選手権大会に、平成26年度卒業生の（現東海大学1年）蜂須賀優俊君、3年生の後藤大成君、2年生の大田喜日向君が選出されました。この世界選手権大会出場は、2005年の吉田圭伸選手、牛来達哉選手、2007年の田中富夢野選手以来の快挙です。

インターンシップ！

1月に幼児センターと保健福祉センターにおいて、2年生対象のインターンシップが行われました。幼児センターでは、幼稚園児へ絵本の読み聞かせをしたり一緒に踊ったり遊んだりしました。保健福祉センターでは、おじいちゃんやおばあちゃんたちと体操をしたり、レクリエーションでゲームをしたり、のんびりとお茶を飲みながら楽しくおしゃべりし、とても貴重な経験をさせていただきました。

生徒の感想文から（幼児センター）

職員の方々の子供達とのふれあいかたと見ると相手に伝えるよう常にゆっくり大きな声で話されており、注意する時などは特にしっかりと言い方を変えて話しをわかってもらえるまで丁寧に話しかけている場面を多く見ました。また、その怒り方も「してはいけないこと」は、なぜしてはいけないか、ただ「怒られるから」ではなく「危ないから」や「相手が嫌がることだから」など、理由を知ってもらうことを一番大切なこととして注意することを大事にされていました。そのような「してはいけないこと」を子供達は遊びの中で学んでいくので、集団生活をおくる場所での一番身近な大人であるこの職業は、言語一つ一つを意識して気を配り、良い大人の見本となるように丁寧な言葉遣いや優しい話し方を心がけ、この時期から道徳的なことやルール、礼儀など、生活の基本を身につけてあげることが役目だと感じました。

インターンシップをしないと知らなかったことや学べなかったことも多いのでこういった機会があればまた参加したいと思いました。



新食堂が完成！



新しい食堂が完成し、1月13日の帰寮日から利用しています。

新食堂の大きさは、旧食堂の1.5倍あり、きれいでゆったりとした空間で食事をとることができるようになりました。

赤ちゃんとのふれあい体験（3年）！

12月17日、保健福祉センターにおいて、3学年36名が赤ちゃんとのふれあい体験学習を行いました。核家族化、出生数の減少により、赤ちゃんの誕生や成長について、目で見たりふれたりする機会が少なくなっている中、赤ちゃんとのふれあいをとおして親となることの意味と責任、生命の尊さを学び命の育みを感じ、性と男女交際で大事なことを知る目的があります。今回の体験学習では、妊婦疑似体験セットを使用して、男子も女子も妊娠の大変さを疑似体験したり、お母さんとの交流や赤ちゃんとのふれあい遊び、抱っこなども体験しました。



る中、赤ちゃんとのふれあいをとおして親となることの意味と責任、生命の尊さを学び命の育みを感じ、性と男女交際で大事なことを知る目的があります。今回の体験学習では、妊婦疑似体験セットを使用して、男子も女子も妊娠の大変さを疑似体験したり、お母さんとの交流や赤ちゃんとのふれあい遊び、抱っこなども体験しました。



2月の行事予定

- 1日（月）3年生 家庭学習期間（～27日）
- 1日（月）～8日（月）クロスカントリースキー部
全国高等学校スキー大会出場（青森県）
- 2日（火）～8日（月）美術部校外展
- 2日（火）国際理解教育派遣生徒選考（小論文試験）
- 3日（水）国際理解教育派遣生徒選考（面接試験）
- 12日（金）推薦入学者選抜
- 16日（火）「北海道高等学校学力向上推進事業」学力テスト
- 18日（木）～22日（月）学年末考査
- 23日（火）性教育講話（2学年）
- 26日（金）学校評議員会議
- 29日（月）卒業式予行 PTA・体文役員会

編集後記

インターンシップや赤ちゃんのふれあい体験によって、豊かな心が育ち、これからの社会の担い手となる上で、大切なことを学びました。美術部の生徒が描いた作品を展示する美術部校外展を公民館で行います。是非、見に来て下さい。

クロスカントリースキー部は、全国大会2連覇を目標に頑張ります。村民の皆さん応援よろしくお願ひ致します。